

変異株の検査結果について (8月12日 13時現在)

呉市において発生した新型コロナウイルス感染症患者の検体を、広島県立総合技術研究所保健環境センター等で実施した検査結果は、次のとおりです。

期間	検査対象者数 (※1)	L452R 変異確認件数				デルタ株確認件数			
		陽性	未確認	確認不能 (※2)	陰性	陽性	未確認	確認不能 (※2)	その他の変異
6/13 ~ 6/26	7	1				1 (16.7%) (※3)			
		1	1	0	5	1	0	0	0
6/27 ~ 7/10	10	7				6 (66.7%)			
		7	0	0	3	6	0	1	0
7/11 ~ 7/24	7	4				4 (57.1%)			
		4	0	0	3	4	0	0	0
7/25 ~ 8/7	45	21				9 (69.2%)			
		21	20	0	4	9	12	0	0
合計	69	33				20 (57.1%)			
		33	21	0	15	20	12	1	0

※1 「検査対象者数」は、期間中に感染が確認された人数。

※2 「確認不能」は、検体資料が少ないことなどにより、L452Rまたはデルタ株の検査ができなかったものの数。

※3 () 内は未確認、確認不能を除く、期間中の検査対象者に占めるデルタ株の割合。

*現在の感染者数急増の一因とされるデルタ株の県内発生動向を把握するため、広島県立総合技術研究所保健環境センター等で、新型コロナウイルスの陽性が確認された検体試料により、L452R変異株のスクリーニング検査を行っています。
また、L452R変異が確認された株については、ゲノム調査を行っています。

○L452R変異株について

L452R変異（452番目のアミノ酸がロイシンからアルギニンに置換）をもつ株で、デルタ株（従来のインド株）やカプパ株などが含まれます。

○デルタ株について

デルタ株は、アルファ株（従来の英国株）よりも、感染・伝播性が増加しており、重症化リスク上昇の可能性も示唆されています。

○感染予防策について

デルタ株であっても、基本的な予防策は変わりません。3つの密の回避、マスクの正しい着用、手洗いなどの徹底をお願いします。